

行政視察等報告書（個人用）

令和 1 年 8 月 23 日

知立市議会議長 様

報 告 者	杉山 千春（公明党）
日 時	令和 1 年 8 月 22 日（木）13 時半～15 時半
視察（研修）場所	愛知県西尾市 西尾市保健センター
目 的	「障がい者歯科診療所について」

調査事項

(1)、障がい者歯科診療所の開設の背景について

西尾市においては、市内に障がい者歯科診療の専門の歯科診療施設がないため、春日井市、豊田市、豊橋市、豊川市、岡崎市、蒲郡市など遠方の診療所に通っている状況。

平成 28 年度に歯科医師会から障がい者歯科建設の要望書が提出。障がい者団体の保護者アンケート実施、開設を願う声も多く、開設に向けての準備を進め、平成 31 年 4 月に西尾市障がい者歯科診療所を開設。

(2)、 障がい者歯科診療所の概要と主な特徴について

【概要】

(1) 建設費用について

- ・ 建設工事費 約 5,900 万円（機械設備等）
- ・ 診療用備品購入費 約 2,300 万円（専用椅子等）

(2) 診療所の運営について

- ・ 西尾市歯科医師会に運営を委託
運営委託費 約 2,200 万円
(1 日歯科医師 4 名、歯科衛生士 4 名体制で診療)

(3) 診療日等について

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	祝日
診療日	×	×	×	○	×	×	×	×
予約受付日	○	○	○	○	○	×	×	×

★ 特徴

- (1) 障がい者歯科診療所開設に向けて、歯科医師会と協議を重ね、患者とその保護者の歯科診療に対する恐怖心や不安、緊張が軽減され、安全に治療や予防処置を行うことができる診療所を目指している。

- (2) 障がい者歯科診療所を、休日診療所に増設し、待合室や受付を休日診療所と共有することで有効的に活用。
- (3) 歯科診療室は、一般の診療所に比べチェアーの周りに広いスペースを確保して、患者への圧迫感を減らし、複数の歯科医師等で診療できるようにした。
- (4) 歯科医師、歯科衛生士の服装は、患者の緊張感を和らげるために、ポロシャツを着用。他にも何点かの特徴を持つ。

★ 4月の開設からの実績・成果 開設にあたり工夫した点

4月 患者数 14人

5月 23人

6月 21人

7月 31人 開設にあたり現状把握、先進地視察、啓発活動
また、「児童発達支援センターの白ばら園」の保護者からアンケート調査の協力をいただく。〈現状や意見を直接伺う懇談会も開催〉

- ・診療をより安全に実施するために、障がい者歯科診療の専門家として大学へ教授の派遣の依頼。

★ 現状の課題・今後の展望について

① 歯科医師、歯科衛生士の確保と資質の向上

大学の専門歯科医師から診療技術を習得し、安全な治療と更なる技術の向上を目指す。

② 患者数の確保

患者数は、開設初日の4月11日の4人から7月25日では、10人となり、当初の予定である1日15人の患者数には至っていない。一般の歯科診療所との連携を強め、患者数の増加をめざす。

【所感】

障がい者団体保護者アンケートに示されたように、お子さんの口腔ケアに大変気をかけ虫歯にならないよう、一般歯科診療所での困難さ苦慮されているのが実態...そのような中、専門診療できる環境は、望まれるところであるしかし現実的には、市単独での建設開設は厳しい。

定住圏自立協定を結ぶ、刈谷市、高浜市との協力の元、広域での事業展開は可能では？と考える。そこには、西尾市でもしめされたように、歯科医師会の絶大なる協力と大きな声が必要である。今後もさらに近隣市、また今年度から開始された、西尾市の経過をしっかりと学んでいきたい。

※報告書は視察（研修）場所ごとに作成してください。

報告書は視察（研修）終了後1週間以内に提出してください。